

たいと著者らは考えた。

配送センターを流通ネットワーク上の最適の位置に置くことを、混合整数計画法を利用したモデルで定め、多種類の格納品のうちのどれを立体自動倉庫に入れるべきかをABC分析で決定し、倉庫の規模を指数平滑法を含む在庫理論により求める。さらに、倉庫の設計には、倉庫を中心とした物流のシミュレーションによる知見を利用する。

これらを合計8本のプログラムと1つの選択手法でまとめ、各段階で設計者の判断が反映されるシステムとし

て構成している。このように、随所にORの手法が活用されているが、その中には独自の考案も含まれており、まさにORを十二分に生かした設計手法となっている。

この研究成果はすでに実用に供され、鞍竹中工務店の技術として高く評価されている点も考慮して、本年度の事例研究奨励賞の論文に対して贈ることに決定した。

表彰委員会

〔表彰委員会・昭和56年度委員〕 森村英典(委員長)、原野秀永(副委員長)、伊理正夫(文献賞小委員長)、小田部 齊、刀根 薫、三浦大亮

新フェローの紹介

フェロー会議より理事会へ新フェローとして小田部齊、西田俊夫の両氏が推薦され、4月12日の理事会で承認されましたのでご紹介します。

小田部 齊 (おたべ ひとし) 氏

大正15年3月23日生

現住所 東京都板橋区高島平5
-26-8

学 歴 昭和25年3月 早稲田大
学理工学
部応用化
学科卒業



職 歴 昭和25年4月 東亜燃料工業株式会社入社
昭和41年2月 同上 製造部数理計画課長
昭和44年3月 同上 製造部次長
昭和46年8月 同上 機械計算室長
昭和49年5月 同上 情報システム室長

OR学会役員

評議員 昭和42年より現在まで

理 事 昭和44, 45年

副会長 昭和54, 55年

監 事 昭和49, 50年

その他、研究普及委員および同委員長、広告委員および同委員長等を歴任され、当学会の発展に貢献されたほか、石油精製業へのORの導入、普及に尽力され、成果をあげられました。

西田 俊夫 (にしだ としお) 氏

昭和2年7月31日生

現住所 大阪府箕面市桜ヶ丘1-
16-18

学 歴 昭和25年3月 京都大学
理学部数
学科卒業



職 歴 昭和25年4月 神戸大学
理学部助手
昭和27年10月 同上 講師
昭和34年4月 甲南大学理学部助教授
昭和38年4月 同上 教授
昭和42年2月 大阪大学工学部教授

OR学会役員

評議員 昭和45~56年

監 事 昭和52, 53年

副会長 昭和54, 55年

その他 刊行物委員, Advisory Board, 関西支部長などを歴任され、永年当学会の発展に貢献されたほか、特に関西地区へのORの導入に尽力され、大きな成果をあげられました。また昨年度は西田俊夫グループとして第1回事例研究奨励賞を受賞されました。